



27.2.18  
杉並区広報課

## 地域づくりの担い手育成が評価され 区立社会教育センターが「優良公民館表彰」を受賞！

17日、区立社会教育センター（梅里1-22-32）が、文部科学省から、事業内容や方法に工夫を凝らし、地域住民の学習活動に大きく貢献している公民館等に贈られる「第67回優良公民館表彰」を受賞しました。

文部科学省の「優良公民館表彰」は、昭和23年から続く歴史ある表彰で、地域課題の解決やまちづくり活動のための学びの拠点として貢献している施設に贈られるものです。文部科学省の調査によると、平成23年10月現在、全国の公民館等の施設は、約1万5,000あります。第67回目を迎える今回、杉並区立社会教育センターは、「優良公民館表彰」を受賞した77館のうち、さらに5館に贈られる「優秀館」に選ばれました。

社会教育センターは、原水爆禁止署名運動の発祥の地である杉並区立公民館が、平成元年に閉館となったのを受け、同年に設置された教育委員会の出先機関です。主に成人を対象として、比較的地域とのつながりが薄い区民の地域参加を促したり、地域づくりを目的とした区民自身の手による活動を支援するため、様々な切り口で講座やワークショップ等の事業を開催することで、地域づくりの担い手を発掘、育成する役割を担っています。

社会教育センターの受賞理由は、区民との協働により事業を実施することで、区民の地域参加の経験や関心度に応じて、地域の中に様々な活動を生み出しているところです。

例えば、平成18年度から実施する「すぎなみ大人塾」という講座では、「自分をふりかえり社会とのつながりを見つける大人の放課後」をキャッチコピーに、社会起業家の視点を講座に取り入れたり、趣味や特技を通じて地域の中で他者とつながるきっかけを作るなどの工夫で、働き盛りの30～50代を含め、500名以上の区民が参加してきました。その中には、講座終了後、仲間とともに高齢者や障害者の孤立を防ごうとコミュニティハウスをつくる活動や食事をともにする活動などが生まれています。

来月4日（水曜）には、「優秀館」5館によるプレゼンテーションがあり、最優秀館が決定します。当日の様子は、下記インターネットからも配信され、ネット投票で視聴者も最優秀館の選定に加わることができます。

### ◆公民館放送局（全国公民館振興市町村長連盟）

<http://koshinren.jp/0301plantv.html>

（動画）<https://www.youtube.com/watch?v=5QGDvFs-RQ4>

### 【問い合わせ先】

教育委員会事務局生涯学習推進課・総務部広報課 TEL：3312-2111（代表）